スーパーラビット 運用・活用例

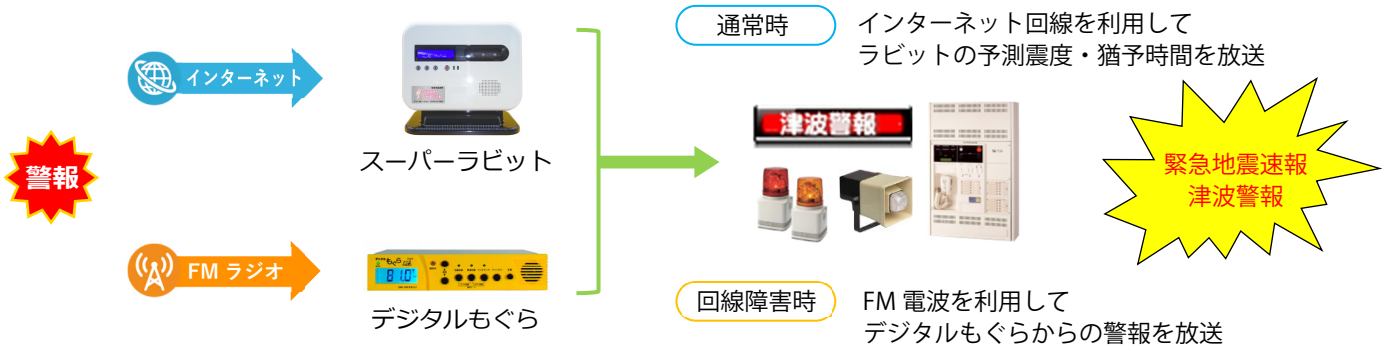
放送設備と連動

放送機器での一斉放送、外部機器の制御

「スーパーラビット」が緊急地震速報を受信すると、即座に館内放送で地震警報が放送されると同時に、回転灯や電光掲示板などでも警報をお知らせすることができます。

デジタルもぐらと併用

インターネット回線が不通になっても、FM ラジオから緊急地震速報を受信



通常は「スーパーラビット」が緊急地震速報をインターネット経由で受信しますが、大規模災害によるインターネット回線の障害時には、自動で「デジタルもぐら」が FM 電波経由で緊急地震速報を受信して、警報をお知らせすることができます。津波警報、ミサイル発射など自治体からの避難指示などが発令された場合にも、「デジタルもぐら」からお知らせします。さらなる安全・安心を追及した究極の地震防災システムです。

リアルタイム震度計「ぶるっとＳ波」と併用

揺れる前、揺れている間、揺れが収まってから
状況に応じて別々のアナウンスを放送

地震が到達すると、揺れが始まり、徐々に激しくなり、最大の揺れとなり、その後、徐々に揺れが収まってきます。
揺れている時間は地震の特徴や規模などにより異なりますが、3分以上揺れ続けていることもあります。

揺れている間は、身の安全を確保することが最も需要なことで、避難することではありません。
しかしながら、災害時には大きな揺れに対しての驚き・恐怖・不安などで、なかなか正常な判断を維持することは難しく、次なる行動の判断を誤ることがあります。

リアルタイム震度計「ぶるっとS波」を利用すれば、揺れている間は『身の安全を確保するアナウンス』を流し続け、揺れが収まったら放送内容を変更し、『緊急対応の指示や避難誘導のアナウンス』を放送することで、2 次災害を抑えることができます。

地震発生時のアナウンス

1. 最初に「スーパーラビット」が緊急地震速報の警報アナウンス、予測震度・地震到来までの猶予時間を放送します。
2. 地震が近づき、リアルタイム震度計「ぶるっとＳ波」が地震波を観測、揺れ始めたら、身の安全を確保するアナウンスを放送します。
3. 揺れが収まったら、緊急対応の指示や避難誘導などのアナウンスを放送します。

アナウンス例

1. 緊急地震速報を受信（スーパーラビット）

「ピピピ　ピピピ　REIC 音♪　緊急地震速報」
「およそ20秒後に、震度5強程度の地震が来ます」
「およそ10秒後に、震度5強程度の地震が来ます」
5、4、3、2、1

2. 揺れ始めたら（ぶるっとS波）

「上からの落下物に注意し、揺れが収まるまで、身の安全を確保して下さい」
「上からの落下物に注意し、揺れが収まるまで、身の安全を確保して下さい」
・・・・・揺れが収まるまで、繰り返す

3. 揺れが収まったら（ぶるっとS波）

「揺れが収まりました。余震に注意し、状況に応じて緊急対応、避難を開始して下さい」
「揺れが収まりました。余震に注意し、状況に応じて緊急対応、避難を開始して下さい」
・・・・・任意の時間まで、繰り返す

メール de まもーると連動

離れた場所に、いち早くメールで警報をお知らせ

「メール de まもーる」を利用して、「スーパーラビット」が受信した緊急地震速報・津波警報を、一斉メールで通知することができます。出先の社員にも、即座に警報をお知らせすることが可能です。

タイガーCALL と連動

各種サイネージ・PC へ警報を割込み表示

「タイガーCALL」を利用して、「スーパーラビット」が受信した緊急地震速報を、デジタルサイネージや PC にポップアップ表示することができます。また、ポップアップ表示と同時に、メールでもお知らせすることができます。

Power なまずと連動

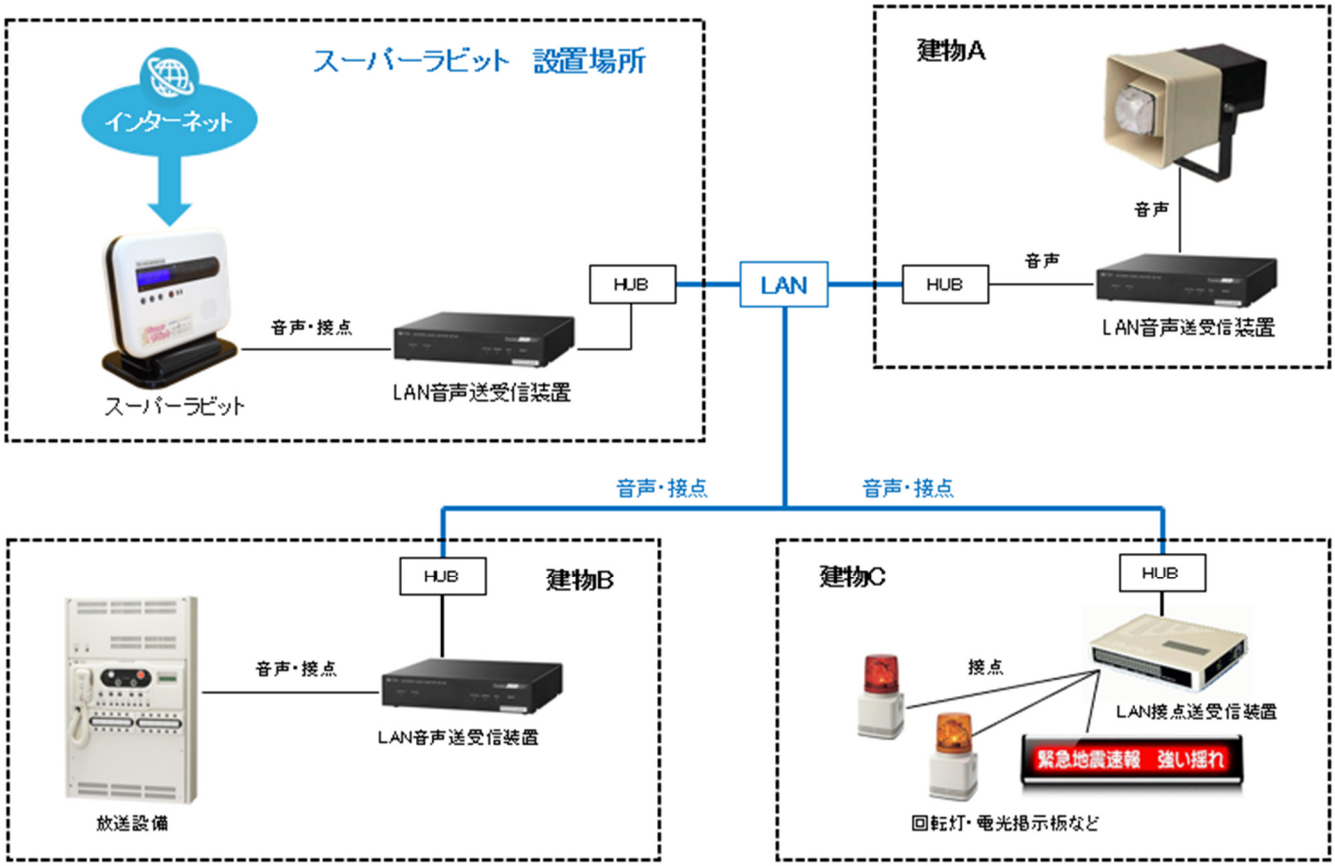
停電時にも電源を供給、引き続き緊急地震速報をお知らせ

被災により停電しても、「Power なまず」から「スーパーラビット」に電源を供給し、引き続き地震速報をお知らせすることができます。FM ラジオ・テレビ機能を搭載しているので、災害情報を収集することも可能です。
防水・防塵仕様、LEDライト搭載で持ち運びが可能、スマートフォンやその他の機器の電源としてもご活用いただけます。
「スーパーラビット」にのみ電源供給をした場合、電源供給目安時間は 37 時間です。

離れた場所にも警報を通知

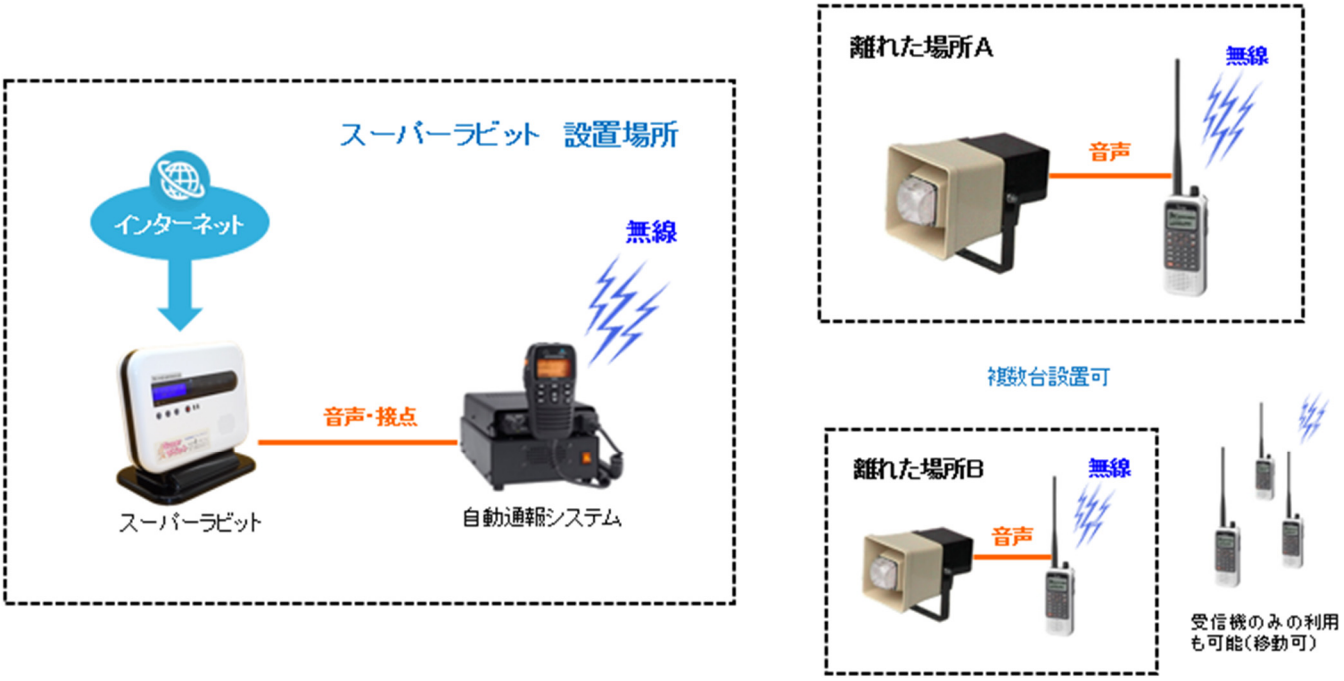
既設 LAN を利用して、離れた建物にカウントダウン音声で警報をお知らせ

既存のネットワーク(LAN)を利用して、離れた建物や場所に「スーパーラビット」の音声・接点を伝達します。
LAN 音声送受信装置を利用すれば、ネットワーク経由で離れた建物の放送設備を自動で起動し、予測震度や猶予時間を音声でお知らせすることができます。(お知らせには多少の遅延を伴うことがあります。)



無線送信ユニットを利用し、離れた場所にカウントダウン音声で警報をお知らせ

既存のネットワーク(LAN)がない場所は、無線を利用して、離れた建物や場所に「スーパーラビット」が受信した警報を音声でお知らせすることができます。送信機設置場所から半径1km程度まで伝達可能です。(無線ですので、天候不良やその他ノイズの影響を受ける場合があります。)ネットワーク(LAN)よりも、高速にお知らせすることができます。



スーパーラビット　訓練・試験放送

スーパーラビットを利用して、防災訓練及び試験放送をすることができます。
地震の揺れが到着するまでのわずかな時間を有効に活用し、少しでも災害を減らすためには、継続的な訓練がとても重要です。また、試験放送をすることで、「スーパーラビット」と放送設備との連動確認や、その他外部機器（自動ドア・エレベーターなど）などとの連動確認を行うことが出来ます。

⚠ 注意点

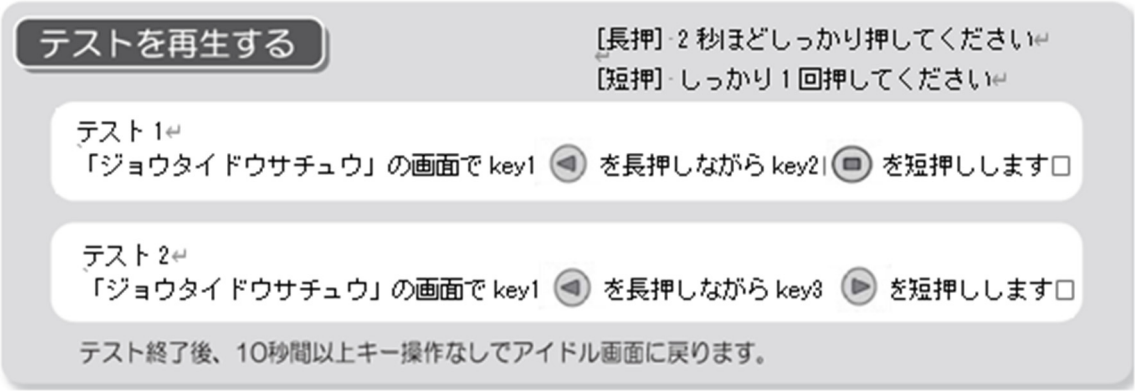
・テスト配信により、接続されている各種機器が非常動作（又は非常停止）します。
・接続されているスピーカーから音声が出ます。関係部署さまへの事前通知をお願いします。
・屋外スピーカーからも音声が出ます。近隣住民さまへのご配慮をお願いします。

防災訓練及び試験放送をする場合には、以下 2 つの方法がございます。

1．本体のボタン操作による

「スーパーラビット」本体操作で、防災訓練・試験放送を行います。
お客様の任意の日時で、いつでも、何度でも行うことができます。
訓練・試験放送する内容は、予め登録をしておきます。　（2種類の登録が可能）
以下の、「テスト設定を変更する」で、震度1～震度7、猶予時間0秒～99秒の間で、任意の震度・猶予時間を選択して登録します。

訓練・試験放送を実施するには、以下の 「テストを再生する」 で実行します。



※右ボタンの短押しで、訓練・試験放送の停止ができます。

※設定によっては、全面の告知ライトが光り続ける場合があります。

その場合は、右側側面にある防災制御解除スイッチを押すと、ライトが消えます。

2. 弊社へ「サーバー配信連動テスト」を依頼する

「デジタルもぐら」詳細については、コチラ警報の模擬データを、緊急地震速報の配信サーバーから、インターネット経由でお客様の「スーパーラビット」に直接配信し、防災訓練・試験放送を行います。

予め弊社にお申込みが必要となりますが、お客様のご希望の震度や猶予時間で防災訓練・試験放送を行うことができます。（有料となります）

総発売元
緊急地震速報のリーディングカンパニー
株式会社 J コーポレーション　総合窓口　TEL 0742-53-7833　〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F